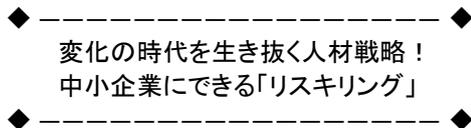


◆今を生き抜く人材戦略「リスキリング」とは？◆

さて、あなたは「リスキリング」という言葉を聞いたことがありますか？



変化の時代を生き抜く人材戦略！
中小企業にできる「リスキリング」

リスキリングとは時代の変化に対応すべく
今後必要になるであろう技術やスキルを社内の人材が習得することを指します。
企業が市場で生き残るために行なう人材戦略のひとつであり、
岸田首相は2022年の所信表明演説で、「個人のリスキリングの支援に5年で1兆円を投じる」と、表明しました。

リスキリングは、いまや国をあげて取り組む課題なのです。
例えば、新たなビジネスモデルを思いついたとき、その分野に精通した人材をすぐに採用できれば問題ありません。

しかし採用難の時代とも言われる昨今は、必要なタイミングで必要な人材を確保することが実に困難です。
人材不足で時代の変化も目まぐるしい現代において、リスキリングは企業が生き残る手段のひとつなのです

ではリスキリングはどう始めれば良いのでしょうか。基本的な進め方を紹介します。

- ①事業内容や業績を踏まえ、今後必要になりそうなスキルを考える
- ②リスキリング対象者、部署の選定
- ③必要なツール、コンテンツの準備

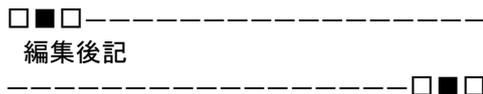
※オンライン講座や社会人大学、eラーニングなど従業員が効率的に取り組めるものを準備する

ここまで進められたら、現場で実践していきます。
リスキリングは目的ではなく、あくまでも手段に過ぎないので実践まで導くことが重要になります。

ちなみに、社内ですでにリスキリングを実行している企業は、このような取り組みをしているそうです。

- 社内の熟練者を講師として、毎週勉強会を開催する
- 社外から専門家を招き講習会を実施する
- 仕事や業務に資する大学などの講座を受講する。その際は、有給の教育訓練休暇とする
- 国の公的支援制度を活用し、職業訓練やアドバイスを受ける など。

人材不足が続くなか、中小企業がリスキリングに取り組むことは今後ますます重要となります。
リスキリングは【未来への投資】です。
多額の費用をかけずとも、まずは自社のできる範囲で少しずつ取り組んでみてはいかがでしょうか。



今回は「リスキリングの重要性」をテーマにお伝えしました。
リスキリングは、今後の会社の成長に必要なスキルは何なのか、見定めることが第一歩です。

どのようなスキルがあれば、変化の時代を生き抜けるのか、当社も改めて確認しようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

